

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土地区画整理事業及び周辺整備の現状と今後について (20分)</p> <p>埼玉県は、10月17日に、株式会社IHIと農業大学校跡地内北側産業用地の土地売買契約を締結しました。</p> <p>10月26日には、株式会社IHIによる農業大学校跡地における事業展開と工場の建設工事について、地元太田ヶ谷地区の農業大学校跡地検討委員会に対して、現地視察と事業説明会が開かれ、11月21日には、検討委員会による株式会社IHI瑞穂工場の視察が行われました。</p> <p>株式会社IHIからの説明では、北側産業用地13.6haの敷地に長さ200m、幅100mの工場を新設し、2019年内の稼働を目指すとのこと。この鶴ヶ島新工場は、今後、世界の航空需要が増大する中で、アジアを代表する最先端の民間航空エンジン事業の拠点となるAI、IoT等の新技術を活用したスマート工場として整備していくとのことでした。</p> <p>北側産業用地への企業進出が決まる中で、当該土地区画整理事業用地内には、南側産業用地や緑地保全エリア、多目的運動場などの予定地もあります。また、周辺のインフラ整備として、都市計画道路川越鶴ヶ島線、鶴ヶ島南通り線の整備や下水道管の布設工事が進められております。</p> <p>こうした土地区画整理事業がどのような現状にあり、今後どのように動いていくのか。また、周辺のインフラ整備がどのような現状で、今後どのように動くのかについて、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 株式会社IHIの事業展開について (2) 南側産業用地の現状について (3) 緑地保全エリア及び多目的運動場について (4) 都市計画道路及び下水道工事の進捗状況について (5) 農業大学校跡地に隣接する、県による先端産業実証フィールドについて</p>	市 長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p data-bbox="167 353 1070 443">2 市の魅力を発信する観点からの脚折雨乞行事について (20分)</p> <p data-bbox="167 539 1123 622">10月10日に福島県郡山市にて、郡山市シティセールス基本方針について視察してまいりました。</p> <p data-bbox="167 633 1123 813">東日本大震災による原発事故や風評被害など大きなダメージを被った中から、復興、そして今まで以上に「より魅力あるまち郡山」にしていくために、郡山市では、シティプロモーション推進体制を組織し、多岐に渡る魅力発信事業を展開しております。</p> <p data-bbox="167 824 1123 1003">こうした魅力発信事業の中で、日本遺産魅力発信(猪苗代プロモーション)事業が、未来を拓いた「一本の水路」-大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡-として、文化庁の日本遺産(ジャパンヘリテージ)に登録されました。</p> <p data-bbox="167 1014 1123 1193">この日本遺産への登録により、市民の故郷への魅力の再発見や愛着度と意識の醸成などの内向きのプロモーションと、ふるさとの誇りを魅力として対外的に発信する外向きのプロモーションに繋げて行き、事業の大きな核となっております。</p> <p data-bbox="167 1205 1123 1339">本市においても、鶴ヶ島の魅力を発信、PRしていくためのシティプロモーション、シティセールスの必要性や重要性について、市議会でも多くの指摘や提言がありました。</p> <p data-bbox="167 1350 1123 1529">ふるさと納税による寄附金が、県だけでなく、関東地方でもトップになり、知名度アップに貢献しましたが、「魅力あるまち鶴ヶ島」として定着するには、まだまだ努力していく必要があるような気がします。</p> <p data-bbox="199 1541 791 1574">ここで1つ新たに提案したいと思います。</p> <p data-bbox="167 1585 1123 1675">本市において、4年に一度の脚折雨乞行事があります。神事であるとともに、対外的にも大きな発信力のある行事であります。</p> <p data-bbox="167 1686 1123 1865">平成25年には、ふるさとイベント大賞の最高賞を受賞しております。本市にとって、このような行事は大きな資産であり、市民の誇り、ふるさと意識の醸成につながるとともに、対外的にも市の魅力が大いに伝わるスケールを有しております。</p> <p data-bbox="167 1877 1123 2011">このような資産を、さらに上のステージへと押し上げて、日本遺産への登録などを検討していくことも、市の魅力を発信していく上で大きなプラスになるものと考えます。</p> <p data-bbox="199 2022 919 2056">こうしたことを踏まえて、以下、質問いたします。</p>	<p data-bbox="1150 353 1410 443">市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>(1) 本市のふるさと意識の醸成の考え方について (2) 本市のシティプロモーションの考え方について (3) 日本遺産(ジャパンヘリテージ)について (4) 脚折雨乞行事の日本遺産登録の考えについて</p>	
<p>3 鶴ヶ島市の農業政策について (20分)</p> <p>市域の面積が狭く、高度成長期におけるベッドタウン化による住宅化の進展などにより、農地の点在化が進み、その集積化が難しい本市の農地の現状やそれに輪をかけて拡大する耕作放棄地、さらには深刻な農業後継者不足など、本市の農業を取り巻く情勢は厳しさを増しております。</p> <p>本市の特産品であるサフランも、兼業農家などの臨時収入的な要素が強く、農業の本流とは成り得ていません。</p> <p>そうした中で、平成27年度に「都市農業振興基本法」が制定、施行されました。翌28年度に国による都市農業振興基本計画が策定され、それに基づき、市では、本年から「鶴ヶ島市都市農業振興計画」の策定に取り組んでおります。</p> <p>本計画の策定にあたっては、各地区の農家や農業団体と意見交換を行い、市の農業の実情を把握しながら、計画づくりを進められております。</p> <p>イチゴの観光農園を始めることで盛況している若手農家や新規就農者が増えていることなど、明るい兆しもあることから、そうしたプラスの面を生かしながら、本市に適した、実効性のある計画にしていきたいと期待しております。</p> <p>本市の農業を「やりがいのある農業」、「儲かる農業」にしていくために、また、農業人口を維持していくためには、どのような農業の形、方向性にしていくべきか。このような観点から、今後の農業政策について、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 本市の農業の現状について (2) 農家及び農業団体との意見交換について (3) 農・商・工の連携について (4) 「やりがいのある農業」「儲かる農業」について (5) 農業人口を維持していくためには。</p>	<p>市長</p>